

GARMIN®

zūmo® 595



操作マニュアル

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

ANT[®]、ANT+[®]、Garmin[®]、Garmin ロゴ、TracBack[®]、VIRB[®]、および zūmo[®]は、Garmin Ltd.またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。myGarmin[™]、および myTrends[™]は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Bluetooth[®] ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。microSD[™] は SD-3C の商標です。Windows[®]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Mac[®] は、Apple Computer, Inc.の登録商標です。PANDORA[®]、Pandora のロゴ、Pandora のトレードドレスは Pandora Media, Inc.の商標または登録商標であり、許可を得て使用されています。SPOTIFY[®]と Spotify のロゴは Spotify AB の登録商標です。互換性のあるモバイルデジタルデバイスとプレミアムサブスクリプションが必要です(利用可能な場合)。www.garmin.com を参照してください。この製品には、サードパーティの使用許諾の対象となる Spotify ソフトウェアが含まれています。サードパーティの使用許諾については、www.spotify.com/connect/third-party-licenses を参照してください。Spotify の音楽とともに旅をお楽しみください。Spotify で好きなアーティストの曲を再生したり、お勧めの曲を自動再生したりしてください。

この製品は ANT+[®] に認定されています。www.thisisant.com/directory にアクセスして、対応している製品およびアプリをご確認ください。

目次

取り付け.....	1	燃料計を有効にする.....	9
自動二輪へのデバイスの取り付け.....	1	ガソリン残量アラームの設定.....	9
電源付き自動二輪マウント.....	1	燃料タンクの燃費をリセットする.....	9
ハンドルバーベースの取り付け.....	1	燃料給油案内を有効にする.....	9
自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける.....	1	位置の検索と保存を行う.....	9
ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける.....	1	検索バーを使用して位置を検索する.....	9
デバイスを自動二輪マウントに取り付ける.....	2	検索結果を地図に表示する.....	9
デバイスを自動二輪マウントから取り外す.....	2	検索エリアを変更する.....	9
自動車にデバイスを取り付ける.....	2	ジャンル別施設.....	9
はじめに.....	2	カテゴリを入力して位置を検索する.....	9
デバイスの概要.....	2	カテゴリ内を検索する.....	10
電池を取り付ける.....	3	場所内のジャンル別施設にナビゲーションする.....	10
製品の更新.....	3	Foursquare.....	10
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新.....	3	検索ツール.....	10
デバイスの電源をオンまたはオフにする.....	3	住所を検索する.....	10
GPS 信号を捕捉する.....	3	交差点を検索する.....	10
ステータスバーアイコン.....	4	都市を検索する.....	10
オンスクリーンボタンを使用する.....	4	座標を使用して位置を検索する.....	10
音量を調整する.....	4	最近検索した位置を表示する.....	10
画面の輝度を調整する.....	4	最近検索した場所のリストを消去する.....	11
交通モード.....	4	最後に駐車した場所を検索する.....	11
交通モードを選択する.....	4	現在地情報を表示する.....	11
オンスクリーンキーボードを使用する.....	4	緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する.....	11
ラージボタンキーボードの使用.....	4	現在地への道順を表示する.....	11
運転者への注意喚起の機能とアラート.....	4	ショートカットを追加する.....	11
運転者アラートを有効または無効にする.....	5	ショートカットを削除する.....	11
赤信号カメラとスピードカメラ.....	5	位置を保存する.....	11
ヘルメット着用に関する通知文の表示.....	5	位置を保存する.....	11
ヘルメットに関する法律を検索する.....	5	現在地を保存する.....	11
目的地へのナビゲーション.....	5	保存した位置を編集する.....	11
ルート.....	5	保存した位置にカテゴリを割り当てる.....	11
ナビゲーションを開始する.....	5	保存した位置を削除する.....	11
ルート探索方法を変更する.....	5	保存した位置を共有する.....	11
アドベンチャールートを使用してルートを選択する.....	5	地図を使用する.....	11
往復のルートを作成する.....	5	地図ツール.....	12
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	6	地図ツールを表示する.....	12
帰宅する.....	6	地図ツールを有効にする.....	12
地図上のルート.....	6	この先.....	12
アクティブ車線案内.....	6	この先の場所を表示する.....	12
方向転換と方向指示を表示する.....	6	[この先] カテゴリをカスタマイズする.....	12
地図にルート全体を表示する.....	6	トリップ情報.....	12
ルートに場所を追加する.....	6	地図からトリップデータを表示する.....	12
ルートを形成する.....	7	トリップ情報ページを表示する.....	12
迂回路を検索する.....	7	軌跡ログを表示する.....	12
ナビゲーションを停止する.....	7	トリップ情報をリセットする.....	12
トリッププランナー.....	7	進行方向の交通事故を表示する.....	13
トリップを計画する.....	7	地図上に交通渋滞情報を表示する.....	13
保存されているトリップをナビゲーションする.....	7	交通事故情報を検索する.....	13
トリップの目的地の順序を最適化する.....	7	地図をカスタマイズする.....	13
トリップの場所を編集および並べ替える.....	7	地図レイヤーをカスタマイズする.....	13
アクティブルートを編集および保存する.....	7	地図データフィールドを変更する.....	13
トリップのルート探索オプションを変更する.....	7	地図表示方法を変更する.....	13
トリップのスケジュールを設定する.....	7	Bluetooth 接続の機能.....	13
トリップを共有する.....	8	Bluetooth 機能の要件.....	13
推奨ルートを利用する.....	8	電話とヘッドセットのペアリング.....	13
遅延、有料道路、およびエリアを回避する.....	8	Bluetooth 機能のステータスアイコン.....	14
ルート上の交通遅延を回避する.....	8	Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする.....	14
有料道路を回避する.....	8	Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する.....	14
有料ステッカーを回避する.....	8	Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする.....	14
道路の回避機能.....	8	Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする.....	14
カスタム回避.....	8	Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする.....	14
直行ルートをナビゲーションする.....	8	Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する.....	14
燃料の記録.....	9		

Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする	14	ナビゲーション設定	20
ヘッドセットの Bluetooth 機能を有効または無効にする	15	計算モードの設定	20
Smartphone Link	15	シミュレートされた場所を設定する	20
Smartphone Link をダウンロードする	15	Bluetooth 設定	20
電話からデバイスに位置を送信する	15	Bluetooth を無効にする	20
Garmin ライブサービス	15	ディスプレイ設定	21
Garmin ライブサービスに申し込む	15	トラフィック設定	21
スマート通知	15	単位および時間設定	21
通知を受信する	15	時間を設定する	21
通知のリストを表示する	16	言語およびキーボード設定	21
ハンズフリー通話	16	近接アラート設定	21
電話をかける	16	デバイスおよびプライバシー設定	21
電話を受ける	16	設定を初期化する	21
通話履歴を使用する	16	デバイス情報	21
通話中オプションを使用する	16	仕様	21
自宅の電話番号を保存する	16	デバイスを充電する	21
Bluetooth デバイスの取り外し	16	デバイスのメンテナンス	22
ペアリングした電話を削除する	16	デバイスのお手入れ	22
トラフィック	16	外側ケースのクリーニング	22
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する	16	タッチスクリーンのクリーニング	22
トラフィックを有効にする	17	盗難防止	22
アプリケーションを使用する	17	デバイスをリセットする	22
LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する	17	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	22
スマートフォンから LiveTrack セッションを開始する	17	マウントからデバイスを取り外す	22
メディアプレイヤー	17	吸着カップからマウントを取り外す	22
メディアを再生する	17	フロントガラスから吸着カップを取り外す	22
マップにメディアプレイヤーツールを追加する	17	車両電源ケーブルのヒューズを交換する	22
メディアソースを変更する	17	トラブルシューティング	22
Pandora サービス	17	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	22
Spotify	17	デバイスで衛星信号を受信できない	22
トラック	17	デバイスを車両で充電できない	22
トラック情報の表示	17	充電しても電池の電力が長持ちしない	22
TracBack®	18	使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません	22
最近のトラックを辿る	18	使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません	23
最近のトラックをトリップとして保存する	18	使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません	23
タイヤ圧	18	電話がデバイスに接続されません	23
タイヤ圧センサーの設定	18	付録	23
タイヤにセンサーを取り付ける	18	地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	23
タイヤ圧アラート	18	データ管理	23
タイヤ圧センサーのスリープモード	19	メモリーカードについて	23
コンパスを使用する	19	デバイスをコンピュータに接続する	23
VIRB® リモート	19	コンピュータからデータを転送する	23
VIRB アクションカメラの制御	19	GPS 信号ステータスを表示する	23
サービス履歴をログに記録する	19	追加の地図を購入する	23
サービスカテゴリを追加する	19	アクセサリを購入する	23
サービスカテゴリを削除する	19	索引	24
サービスカテゴリの名前を変更する	19		
サービスの記録を削除する	19		
サービスの記録を編集する	19		
ヘルプファイルの表示	19		
ヘルプトピックを検索する	19		
天気予報を表示する	19		
別の都市周辺の天気を表示する	19		
気象観測レーダーを表示する	19		
気象警報を表示する	19		
道路状況を確認する	20		
photoLive トラフィックカメラ	20		
トラフィックカメラを保存する	20		
トラフィックカメラを表示する	20		
前のルートと目的地を表示する	20		
デバイスをカスタマイズする	20		
地図および車両設定	20		
地図を有効にする	20		

取り付け

自動二輪へのデバイスの取り付け

電源付き自動二輪マウント

警告

Garmin® 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

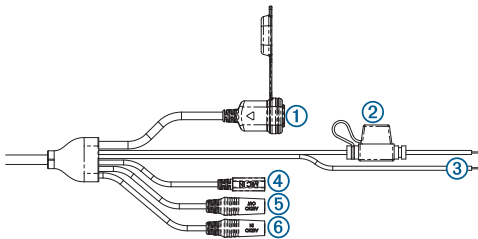
製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

デバイスは、利用可能な電源と安全なケーブル配線に基づいて、自動二輪の適切で安全な場所に取り付ける必要があります。



①	自動二輪クレードル
②	12~24 Vdc システム電源 (赤)、インラインヒューズ付き
③	システムグラウンド (黒)

自動二輪マウント配線ハーネス



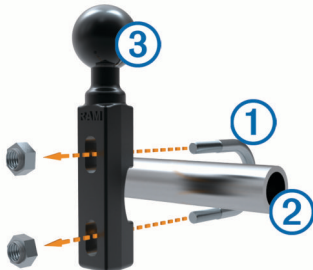
①	USB
②	12~24 Vdc システム電源 (赤)、インラインヒューズ付き
③	システムグラウンド (黒)
④	2.5 mm マイクロフォン
⑤	3.5 mm ステレオ音声出力
⑥	3.5 mm ステレオ音声入力

ハンドルバーベースの取り付け

デバイスには、2つのハンドルバーの取り付けソリューションのための部品が含まれています。カスタムマウントには、追加のハードウェアが必要です。

U 字形ボルトとハンドルバーベースの取り付け

- 1 U 字形ボルト①をハンドルバー②に置き、端をハンドルバーベース③に通します。

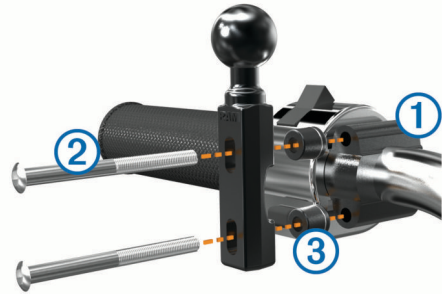


- 2 ナットを締め、ベースを固定します。

注: 推奨トルクは 50 lbf-in (5.65 N-m) です。トルクが 80 lbf-in (9.04 N-m) を超えないようにしてください。

ハンドルバーベースのクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットへの取り付け

- 1 クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケット①の工場に取り付けられた 2 本のボルトを取り外します。



注: 1/4 in. 標準ボルトと M6 ボルトの両方が付属しています。クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットの工場に取り付けられた 2 本のボルトのサイズを合わせます。

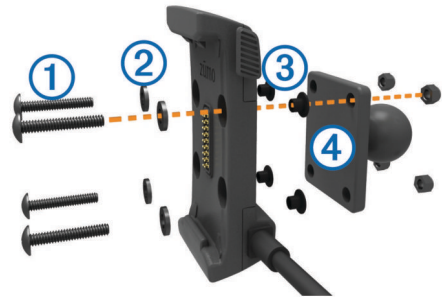
- 2 新しいボルト②を、ハンドルバーベース、スペーサー③、およびクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットに通します。
- 3 ボルトを締め、ベースを固定します。

自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける

注記

ベースプレートを含む自動二輪のその他の部品に直接接触し続けると、時間の経過とともにマウントが損傷する場合があります。このような損傷を避けるため、マウントとベースプレートの間にマウントスペーサーを取り付け、デバイスまたはマウントが自動二輪に一切接触しないようにします。

- 1 M4 x 20 mm なべ頭ねじ①をワッシャー②、クレードル、スペーサー③、ベースプレート④に通します。



- 2 ナットを締め、ベースプレートを固定します。

ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける

- 1 ハンドルバーベース①のボールとベースプレート②のボールの位置をダブルソケットアーム③のそれぞれの端で合わせます。



- 2 それぞれのボールをダブルソケットアームに差し込みます。
- 3 ノブをわずかに締めます。
- 4 最も見やすく、操作しやすいように調整します。
- 5 ノブを締め、マウントを固定します。

デバイスを自動二輪マウントに取り付ける

- 1 デバイスの底面をクレードルに合わせます。



- 2 所定の位置に固定されるまで、デバイスを後ろに傾けます。
- 3 デバイスを挿入した後にマウントの上部にあるラッチが上がったままの場合は、押し下げます。

デバイスを自動二輪マウントから取り外す

- 1 マウントの側面にあるリリースボタンを押します。
- 2 デバイスを持ち上げて外します。

自動車にデバイスを取り付ける

注記

装置を取り付ける前に、フロントガラスへの取り付けに関する地域法を確認してください。

警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

自動二輪車への取り付けに吸盤を使用しないでください。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- 1 自動車電源ケーブル①をマウントのコネクタ②に接続します。



- 2 吸盤③から透明のプラスチックを取り外します。
- 3 フロントガラスと吸盤の汚れを、柔らかい布で拭き取り乾かします。
- 4 吸着カップをフロントガラスに取り付け、レバー④をフロントガラス方向に倒します。
- 5 クレードル⑤を吸盤アームにはめ込みます。
- 6 デバイスの底面をクレードルに合わせます。
- 7 所定の位置に固定されるまで、デバイスを後ろに傾けます。
- 8 車両の電源ケーブルの反対側の端を、電源コンセントに接続します。

はじめに

警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- 電池を取り付けます (電池を取り付ける, 3 ページ)。
- デバイスのマップとソフトウェアを更新します (製品の更新, 3 ページ)。
- デバイスを取り付けて、電源に接続します (取り付け, 1 ページ)。
- Bluetooth®電話とヘッドセットをペアリングします (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ) (オプション)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 3 ページ)。
- 画面の輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 4 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。

デバイスの概要



①	電源キー
②	Mini-USB 電源およびデータポート
③	バッテリーコンパートメント (マップ / データ用メモ리카ードスロットもここにあり)
④	マイク

電池を取り付ける

1 電池カバーの D リングを反時計回りに回転し、外します。



2 製品パッケージに同梱されているリチウムイオンバッテリーを探します。

3 ケーブルが上になるようにバッテリーを取り付けます。

4 バッテリーコネクタ①をバッテリーのポート②に差し込みます。



5 バッテリーカバーを閉じ、バッテリーカバーの D リングで固定します。

製品の更新

コンピュータで、Garmin Express™ (www.garmin.com/express) をインストールします。

これにより、Garmin デバイス向けのこれらのサービスに簡単にアクセスできます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図の更新
- 製品登録

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします。

2 Garmin Express アプリケーションを開きます。

3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。

ケーブルの小さい方の端は zūmo デバイスの USB ポート①に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。

5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。

セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



6 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きい場合は、ソフトウェアで、microSD™ デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモ리카ードを挿入する](#), 23 ページ)。

7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

• デバイスの電源をオンにするには、電源キーを押すか、デバイスを電源に接続します。

• デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。

省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。

ヒント： バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。

• デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**オフ**を選択します。

5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使

用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

が緑になると、デバイスは衛星信号を受信してナビゲーションの準備が完了します。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの最上部にあります。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。各アイコンを選択すると、設定を変更したり詳細情報を表示することができます。

	GPS 信号ステータス。押し続けると、GPS の精度と受信した衛星情報が表示されます (GPS 信号ステータスを表示する, 23 ページ)。
	Bluetooth テクノロジーのステータス。Bluetooth の設定を表示するときに選択します (Bluetooth 設定, 20 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み。電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 16 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。車両プロファイルの設定を表示するときに選択します。
	現在の時刻。時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 21 ページ)。
	バッテリー充電レベル。
	Smartphone Link アプリに接続済み。接続済みのデバイスとサブスクリプション情報を表示するときに選択します (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ)。
	温度。天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 19 ページ)。
	燃料の状態。燃料計の情報を表示するときに選択します。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

- を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- を押し続けると、すばやくメインメニューに戻ります。
- または を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- または を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

音量を調整する前に、Bluetooth 無線技術を使用して、デバイスを電動マウントまたはヘッドセットに接続します。

- 1 音量を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - スライダバーを使用して、音量を調整します。
 - デバイスをミュート (消音) にするには、 を選択します。
 - 追加オプションを表示するには、 を選択します。

画面の輝度を調整する

- 1 設定 > 表示 > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダバーを使用して、輝度を調整します。

交通モード

ルート探索およびナビゲーションは、交通モードに基づいて計算されます。現在の交通モードは、ステータスバーのアイコンで示されます。

	自動車モード
	自動二輪モード
	直行モード

交通モードを選択する

を選択します。

オンスクリーンキーボードを使用する

キーボードレイアウトの変更については、「言語およびキーボード設定」を参照してください (言語およびキーボード設定, 21 ページ)。

- 検索エントリを削除するには、 を選択します。
- 1 文字を削除するには、 を選択します。
- キーボードの言語モードを変更するには、 を選択します。
- 句読点など、特殊記号を入力するには、&?% を選択します。
- 文字の大文字、小文字を変更するには、 を選択します。

ラージボタンキーボードの使用

言語とキーボードの設定で追加のキーボード言語やレイアウトを有効にできます (言語およびキーボード設定, 21 ページ)。

- >または<を選択すると、表示文字数が増えます。
- を選択すると、別のキーボード言語やレイアウトに切り替えられます。

運転者への注意喚起の機能とアラート

注記

運転者アラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えており、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも役立ちます。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度 (利用可能な場合) を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づく、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスはトラフィック情報を受信している必要があります (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 16 ページ)。

疲労警告: 停止しないで 2 時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

運転者アラートを有効または無効にする

個別のオーディブル運転者アラートをオフにすることができます。オーディブルアラートを無効にしても、視覚アラートは表示されます。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > オーディブル運転者アラート**の順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。 garmin.com/speedcameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップデート (1 回限りの更新) を行ったりできます。新しい地域を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。

mygarmin.com に移動して、デバイスのカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

デバイスや地域によっては、基本的な赤外線カメラデータやスピードカメラデータがデバイスに搭載されている場合があります。搭載されているデータには更新やサブスクリプションは含まれません。

ヘルメット着用に関する通知文の表示

デバイスで最初に衛星を補足したときや、自動二輪の安全規則が提供される場所に近づいたときに、ヘルメットやアイプロテクターの着用に関する通知が zūmo デバイスに表示されることがあります。

注記

安全のため、Garmin では、すべての運転者にヘルメットの着用をお勧めしています。ヘルメットに関する法律の通知は参照用であり、変更される場合があります。また、この通知は、法律上の助言を与えることを目的としていません。ヘルメットに関する法律の通知は、米国およびカナダでのみ使用できます。

通知を選択すると、詳細情報が表示されます。

ヘルメットに関する法律を検索する

各州と地方のヘルメットに関する法律を検索することができます。

- 1 **77° リージョン > ヘルメットガイド**を選択します。
- 2 州または地方を選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード ([ルート探索方法を変更する](#), 5 ページ) や回避 ([遅延](#), [有料道路](#), [およびエリアを回避する](#), 8 ページ) など で設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。

- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます ([ナビゲーションを開始する](#), 5 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます ([ルートを形成する](#), 7 ページ)。
- ルートに複数の目的地を追加できます ([ルートに場所を追加する](#), 6 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 **目的地検索**を選択し、場所を検索します ([位置の検索と保存を行う](#), 9 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 **出発**を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - 代替ルートを指定するには、**Y**を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ルートの経路を編集するには、**Y > ルートの編集**を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します ([ルートを形成する](#), 7 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します ([地図上のルート](#), 6 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます ([ルートに場所を追加する](#), 6 ページ)。

ルート探索方法を変更する

- 1 **設定 > 航法 > 計算モード**の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - **アドベンチャールート**を選択すると、優先的にカーブの多いルートを選択して計算します。
 - **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - **距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

アドベンチャールートを使用してルートを選択する

ご使用のデバイスで、カーブやヒルが多い道を含み、幹線道路が少ないルートを計算できます。この機能により運転を楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

注：この機能は、すべてのデバイスモデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

- 1 **設定 > 航法 > 計算モード > アドベンチャールート > 保存**を選択します。
- 2 **アドベンチャールート設定**を選択します。
- 3 スライダを使用して、ルートのカーブ数を増減します。
- 4 スライダを使用して、ルートのヒル数を増減します。
- 5 スライダを使用して、ルートの幹線道路数を増減します。
- 6 ルートを開始します ([ナビゲーションを開始する](#), 5 ページ)。

往復のルートを作成する

デバイスでは、指定された出発地と距離、期間、または目的地を使用して、往復のルートを作成できます。

- 1 メイン画面から、**77° リージョン > Round Trip**の順に選択します。
- 2 **出発地**を選択します。
- 3 位置を選択し、**選択**を選択します。
- 4 **トリップの属性**を選択します。

- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離によりルートを計画するには、**距離の選択**を選択します。
 - ・ 時間に基づいてルートを計画するには、**期間の選択**を選択します。
 - ・ 指定された場所に基づいてルートを計画するには、**目的地の選択**を選択します。
- 6 距離、期間、または目的地を入力します。
- 7 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離または期間を入力した場合、OK > **計算**の順に選択します。
 - ・ 距離を選択した場合は、**選択**を選択します。
- 8 ルートを選択し、**出発**を選択します。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要場合は、Q を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー (📍または青いドット) が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 **出発**を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

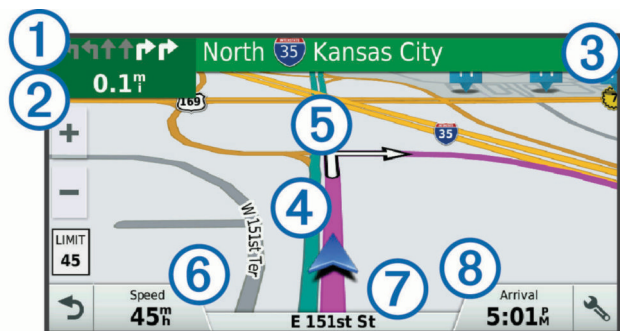
- 1 **目的地検索 > 自宅へ**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 **目的地検索 > ≡ > 自宅登録**の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。

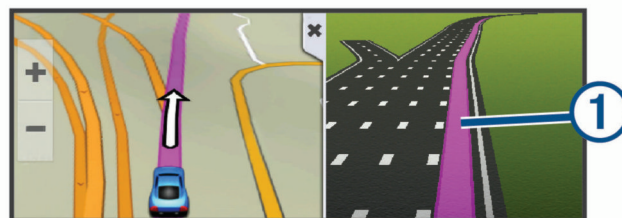


①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび (利用可能な場合) 走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。

⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント：このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます (地図データフィールドを変更する, 13 ページ)。

アクティブ車線案内

ルートをナビゲーションしているときに転換地点に近づくとき、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

- 1 地図から、オプションを選択します。
 - ・ ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、📍 > **方向転換**を選択します。
地図ツールで、地図の横に次の4つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
 - ・ ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。
- 2 方向転換または方向指示を選択します (オプション) 。
詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点画像が表示されます。

地図にルート全体を表示する

- 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- 2 📍を選択します。

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります (ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます (トリップを計画する, 7 ページ)。

- 1 地図から、📍 > **目的地検索**を選択します。
- 2 位置を検索します (位置の検索と保存を行う, 9 ページ)。
- 3 位置を選択します。
- 4 **出発**を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地を追加**を選択します。
 - ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります(ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方角を選択することや特定の地域を通過することができません。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2  を選択します。
デバイスがルートシェイピングモードになります。
- 3 地図上で位置を選択します。
ヒント:  を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。
- 4 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - ・ シェイピングポイントを削除するには、 を選択します。
- 5 ルートの形成が完了したら、**出発**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で  > **ルートの変更**を選択します。
ヒント: ルートの変更ツールが [地図ツール] メニューにない場合は追加できます(地図ツールを有効にする, 12 ページ)。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。
 - ・ 新しいルートを検索するには、**迂回路**を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、 > **停止**を選択します。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、スケジュール情報の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1 回のトリップに多数の目的地を含めることができ、少なくとも出発地と 1 つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ >  > トリップの作成**の順に選択します。
- 2 **出発地の選択**を選択します。
- 3 始点を指定し、**選択**を選択します。
- 4 **目的地の選択**を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、**選択**を選択します。
- 6 **場所の追加**を選択して、その他の場所を追加します(オプション)。

- 7 必要な場所をすべて追加したら、**次へ > 保存**の順に選択します。
- 8 名前を入力し、**OK**を選択します。

保存されているトリップをナビゲーションする

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 **出発**を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**開始**を選択します。
デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、** > 順序の最適化**を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ > マイアクティブルート**の順に選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、**保存**を選択します。
ナビゲーションは後で再開できます(オプション)。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します(オプション)。
- 4 ** > トリップの設定**を選択します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ トリップにシェイピングポイントを追加するには、**ルートを形成する**を選択し、画面に表示される指示に従います(**ルートを形成する**, 7 ページ)。
 - ・ トリップの計算モードを変更するには、**ルート探索方法**を選択します(**ルート探索方法を変更する**, 5 ページ)。

トリップのナビゲーションを開始すると、選択された車両プロファイルに自動的に切り替わります。

トリップのスケジュールを設定する

トリップ内の各場所に、希望到着時刻や各場所での乗り継ぎ時間など、スケジュール情報を追加できます。これにより、トリップで時間どおりに場所に到着できるように出発を計画できます。

- 1 **アプリケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 2 トリップを選択します。
- 3 ** > トリップの設定 > スケジュールの編集**を選択します。

- 場所を選択し、画面に表示される指示に従い、スケジュール情報を入力します。

ヒント：トリップで複数の場所をスケジュールする必要がある場合、トリップの開始から終了に向けて進めます。

- ステップ4を繰り返して、追加の場所にスケジュール情報を入力します。
- 完了したら、**保存**を選択します。

トリップをナビゲーションするとき、スケジュールされた時刻までに経由地や目的地に到着するには、始点の下に表示されている時刻までに出発する必要があります。スケジュールは予定時刻に過ぎません。渋滞状況、工事中、およびその他の遅延が実際の到着時刻に影響する可能性があります。

トリップを共有する

トリップは互換性のある Garmin デバイスと Bluetooth 無線技術を使って共有することができます。

- 互換性のある Garmin デバイスとお使いのデバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 77 リンク > トリッププランナ > ≡ > 共有 > Bluetooth** の順に選択します。
- トリップを選択し、**OK**を選択します。
- リストからデバイスを選択し、**OK**を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイスおよびプライバシー設定](#), 21 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する](#), 16 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[トラフィック設定]でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定](#), 21 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- ナビゲーションの実行中に、**🚦 > トラフィック**を選択します。
- 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 出発を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 設定 > 航法**の順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

 - 有料道路**を選択します。
 - 通行料金 > 有料道路**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。

- 保存**を選択します。

有料ステッカーを回避する

注：この機能を利用できない地域もあります。

国によっては、デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれる場合があります。国ごとに有料ステッカーを回避または許可できます。

- 設定 > 航法 > 通行料金 > 料金ステッカー**を選択します。
- 国を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。
- 保存**を選択します。

道路の回避機能

- 設定 > 航法 > 回避**の順に選択します。
- ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存**を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 設定 > 航法 > カスタム回避**の順に選択します。
- 回避道路の追加**を選択します。
- 回避する道路区域の始点を選択し、**次へ**を選択します。
- 道路区域の終点を選択し、**次へ**を選択します。
- OK**を選択します。

エリアを回避する

- 設定 > 航法 > カスタム回避**の順に選択します。
- 必要に応じて、**回避の追加**を選択します。
- 回避エリアの追加**を選択します。
- 回避するエリアの左上隅を選択し、**次へ**を選択します。
- 回避するエリアの右下隅を選択し、**次へ**を選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- OK**を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 設定 > 航法 > カスタム回避**の順に選択します。
- 回避を選択します。
- ≡ > 無効にする**の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 設定 > 航法 > カスタム回避**の順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、**🗑**を選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、**≡ > 削除**の順に選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

- 設定 > 航法**の順に選択します。
- 計算モード > 直行 > 保存**の順に選択します。

次のルートは、目的地への直線ルートとして計算されます。

燃料の記録

デバイスを設定して、燃料使用量を予測したり、予測最大走行距離に達した際に警告をだしたり、予測残走行距離に基づいて燃料の給油を促すようにすることができます。燃料計を有効にすると、現在の燃料の状態が示されます。

白: 燃料計が無効、またはデバイスが自動二輪マウントに接続されていません。

緑: 予測残走行距離が燃料タンクアラームレベルを上回っています。

橙: 予測残走行距離は燃料タンクアラームレベルを下回っています。

赤: ガソリン残量で走行できる予測距離はゼロです。

燃料計を有効にする

燃料計を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードまたはオフロードモードにして、自動二輪車マウントに取り付ける必要があります。

燃料計を有効にすると、トリップコンピューターに燃料ゲージが表示されます ([トリップ情報ページを表示する, 12 ページ](#))。

- 1 燃料タンクを満タンにします。
- 2 [777 リーダー > 燃料設定 > 燃料の記録](#)の順に選択します。
- 3 満タン時の距離を選択します。
- 4 満タンで走行する距離を入力し、OKを選択します。

ガソリン残量アラームの設定

燃料タンクの残量が少なくなったときに、警告するよう設定することができます。

注: 低燃料警告を機能させるには、デバイスを自動二輪車マウントに接続する必要があります。

- 1 燃料計を有効にします ([「燃料計を有効にする, 9 ページ」](#))。
- 2 燃料タンクアラームを選択します。
- 3 距離を入力し OKを選択します。

燃料が入力した距離に必要なだけの容量まで減ると、地図ページにガソリン残量アラームが表示されます。

燃料タンクの燃費をリセットする

燃料タンクに給油するときは、燃料残量を正確に追跡するために、デバイスで燃料タンクの燃費をリセットする必要があります。

[777 リーダー > 燃料設定 > 燃料タンクのリセット](#)の順に選択します。

燃料給油案内を有効にする

燃料給油案内を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードにして、自動二輪車マウントに取り付け、燃料計を有効にする必要があります。

予測残走行距離に基づいて、燃料給油を促すように設定することができます。

[777 リーダー > 燃料設定 > 燃料給油案内](#)の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します ([検索バーを使用して位置を検索する, 9 ページ](#))。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します ([ジャンル別施設, 9 ページ](#))。
- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 10 ページ](#))。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します ([検索ツール, 10 ページ](#))。

- 別の都市または地域の周辺を検索します ([検索エリアを変更する, 9 ページ](#))。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます ([位置を保存する, 11 ページ](#))。
- 最近検索した場所に戻ります ([最近検索した位置を表示する, 10 ページ](#))。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで 検索の入力を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、Q を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

検索結果を地図に表示する

位置検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

- 1 位置検索の結果から、を選択します。
検索結果の中で一番近い位置が地図に表示されます。は、他の検索結果の位置を示します。
- 2 オプションを選択します (複数可)。
 - 他の検索結果を表示するには、地図に触れてドラッグします。
 - 別の位置を選択するには、を選択します。
 - 選択した位置の詳細とルートを表示するには、地図の下部にある位置の説明を選択します。
 - 選択した位置へのナビゲーションを開始するには、出発を選択します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 メインメニューで目的地検索を選択します。
- 2 を選択します。
- 3 オプションを選択します。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。

- 2 カテゴリーを選択するか、または **カテゴリー** を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 **目的地検索 > カテゴリー** の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 **目的地検索 > 検索の入力** を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、Q を選択して、手順 3 に進みます。
 - ・ POI を検索するには、POI の名前を入力し、Q を選択して、手順 5 に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 POI を選択し、 **出発** を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 **① > この場所を詳細に調査する** を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリー > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare アカウントに接続する

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します (**電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ**)。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

- 3 Smartphone Link アプリ設定を開き、**Foursquare® > ログイン** を選択します。
- 4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 **①** を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

- 1 **77' リンク > Foursquare® > チェックイン** を選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **① > チェックイン** を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 **目的地検索** を選択します。
- 2 必要に応じて、**周辺の検索** : を選択し検索範囲を変更します (**検索エリアを変更する, 9 ページ**)。
- 3 **アドレス** を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 **目的地検索 > カテゴリー > 交差点** の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

都市を検索する

- 1 **目的地検索 > カテゴリー > 都市** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 周辺都市のリストから都市を選択します。
 - ・ 別の場所の周辺を検索するには、**周辺の検索** : (**検索エリアを変更する, 9 ページ**) を選択します。
 - ・ 名前で都市を検索するには、**検索の入力** を選択し、都市名を入力して、Q を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

- 1 **目的地検索 > カテゴリー > 座標** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**📍** を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 **地図に表示** を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目 の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > **≡** > 消去 > はいの順に選択します。

最後に駐車した場所を検索する

デバイスがオンの状態でデバイスを車両電源から取り外すと、現在地が駐車場所として保存されます。

アプリケーション > 最後の場所の順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。
注：サービスカテゴリの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**①**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 **≡** > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリ、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 > **≡** > ショートカットの削除を選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 保存を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリを入力して位置を検索する, 9 ページ)。
- 2 検索結果から、位置を選択します。
- 3 **①** を選択します。
- 4 保存を選択します。
- 5 必要に応じて、名前を入力し、OK を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、OK を選択します。
- 4 OK を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **①** を選択します。
- 5 **≡** > 編集の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリを保存した位置に割り当てるには、**カテゴリ**を選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、**地図記号の変更**を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 OK を選択します。

保存した位置にカテゴリを割り当てる

カスタムカテゴリを使用して保存した位置を整理できます。
注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 **①** を選択します。
- 4 **≡** > 編集 > カテゴリの順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリ名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリの候補を選択します。
- 7 OK を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 **≡** > 保存場所削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、**削除**を選択します。

保存した位置を共有する

位置を保存した後、無線技術またはメモリカードを使用して、互換性がある他の Garmin デバイス Bluetooth と共有できます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **①** を選択します。
- 5 **≡** > 共有を選択します。
- 6 画面に表示される指示に従い、位置情報を共有します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと (地図上のルート, 6 ページ) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。

- ・ 拡大または縮小するには、**+** または **-** を選択します。
- ・ ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、**A** を選択します。
- ・ 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、**Q** を選択します。
- ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**出発 (地図を使用してナビゲーションを開始する, 6 ページ)** を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの変更: 迂回したり、ルート of の場所をスキップしたりできます。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します (**この先, 12 ページ**)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します (**方向転換と方向指示を表示する, 6 ページ**)。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します (**地図からトリップデータを表示する, 12 ページ**)。

音量: マスターオーディオ音量を調節します。

輝度: 画面の輝度を調節します。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します (**通話中オプションを使用する, 16 ページ**)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します (**進行方向の交通事故を表示する, 13 ページ**)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLive サブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します (**photoLive トラフィックカメラ, 20 ページ**)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Smartphone Link アプリ (**電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ**)。

地図ツールを表示する

- 1 地図で **📍** を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、**✕** を選択します。

地図ツールを有効にする

デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが [地図ツール] メニューで有効にされています。メニューには、最大 12 個のツールを追加できます。

- 1 地図で **📍** > **⚙️** を選択します。
- 2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。
- 3 **保存** を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3 つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から **📍** > **この先** を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 各カテゴリーの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて **■** を選択します。
 - ・ この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、**📍** を選択します。
注：このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。
- 3 そのカテゴリー、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図から **📍** > **この先** を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 **📍** を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索** を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 **OK** を選択します。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (**地図ツールを有効にする, 12 ページ**)。

地図で **📍** > **出張データ** を選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (**地図ツールを有効にする, 12 ページ**)。

- 1 地図で **📍** > **出張データ** を選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注：経路地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、**スピード** を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤー** の順に選択します。
- 2 **軌跡ログ** チェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード** を選択します。
- 2 **≡ > フィールド** の順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択** を選択します。

- トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップ A のリセット**を選択します。
- 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
- オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、**☞ > トラフィック**を選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**77° リーダー > トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡ > 凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**77° リーダー > トラフィック**を選択します。
- 2 **≡ > 事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤー**の順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - **トラックアップ**を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - **ノースアップ**を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - **3D**を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存**を選択します。

Bluetooth 接続の機能

デバイスには、互換性のあるスマートフォン用の、Bluetooth 接続の機能がいくつか用意されています。一部の機能を使用するには、スマートフォンに Smartphone Link アプリをインストールする必要があります。詳細については、garmin.com/smartphonelink を参照してください。

スマート通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能は、一部の言語やスマートフォンで利用できない場合があります。

LiveTrack: 運転している場所をスマートフォンの連絡先やソーシャルメディアのアカウントと共有することができます。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

メディアのストリーミング: オーディオをスマートフォンからヘッドセットにストリーミングしたり、Bluetooth メディアコントロールを zūmo デバイスで使用したりすることができます。

Pandora®インターネットラジオ: Pandora インターネットラジオの音楽をヘッドセットにストリーミングしたり、ラジオ局の変更、アーティスト情報とトラック情報の表示、トラックの変更、トラックの評価などの操作を zūmo デバイスで実行したりすることができます。

Spotify®ストリーミング音楽: Spotify ストリーミング音楽サービスの音楽をヘッドセットにストリーミングしたり、音楽やプレイリストの参照と再生、アーティスト情報とトラック情報の表示、トラックの評価などの操作を zūmo デバイスで実行したりすることができます。

Foursquare チェックイン: zūmo デバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます。

最新の天気情報: リアルタイムの天気概況や警報をデバイスに送信します。

Garmin ライブサービス: サブスクリプションベースのサービスを提供して、交通状況、駐車場、詳細な天気予報のようなライブデータをデバイスで表示します。

Bluetooth 機能の要件

一部の機能を使用するには、電話、ヘッドセット、または特定のアプリがインストールされたスマートフォンが必要です。

機能	必要なもの
スマート通知	Smartphone Link アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。
LiveTrack	Smartphone Link アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。
ハンズフリー通話	ペアリングされた電話とヘッドセット。この機能は、ペアリングされた Bluetooth ヘッドセットまたはケーブルで接続されたヘッドセットと互換性があります。
メディアのストリーミング	ペアリングされたスマートフォンとヘッドセット。この機能は、ペアリングされた Bluetooth ヘッドセットまたはケーブルで接続されたヘッドセットと互換性があります。
Pandora インターネットラジオ	Pandora アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。
Spotify ストリーミング音楽	Spotify アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。
Foursquare チェックイン	Smartphone Link および Foursquare アプリがインストールされた、ペアリング済みのスマートフォン。
最新の天気情報	Smartphone Link アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。
Garmin ライブサービス	Smartphone Link アプリがインストールされた、ペアリング済みスマートフォン。

電話とヘッドセットのペアリング

いくつかの Bluetooth 機能を使用するには、zūmo デバイスで電話と Bluetooth ヘッドセットのペアリングをする必要があります。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

一部の機能を使用するには、Smartphone Link アプリが必要です。Smartphone Link アプリには、ペアリングプロセス中、または後で接続できます。

- 1 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。

詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。

- 2 zūmo デバイスと電話の距離は 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 zūmo デバイスで、**設定 > Bluetooth > 〰**を選択します。
- 4 画面の指示に従い、デバイスに電話をペアリングします。
- 5 zūmo デバイスで **〰**を選択します。
ヒント：最初の Bluetooth 設定画面が表示されない場合は、**設定 > Bluetooth > デバイスの検索**の順に選択して、ヘッドセットのペアリングをしてください。
- 6 画面の指示に従い、デバイスにヘッドセットをペアリングします。
- 7 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールして開きます (オプション)。
Apple®デバイスとペアリングしている場合、zūmo の画面にセキュリティコードが表示されます。
- 8 必要に応じて、セキュリティコードを 30 秒以内に電話に入力します。

Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各デバイスの横に表示されます。

設定 > Bluetooth の順に選択します。

- ・ グレーのアイコンは、そのデバイスの機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- ・ 色の付いたアイコンは、そのデバイスの機能が接続されていてアクティブであることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Smartphone Link の機能とサービス
	メディアストリーミング
	ヘッドセットが接続されている

Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、zūmo デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できます。Smartphone Link アプリは Bluetooth Smart 技術を利用して電話と通信します。Apple デバイス上の Smartphone Link アプリに初めて接続するときは、Bluetooth Smart のセキュリティコードを入力する必要があります。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 電話で、Smartphone Link アプリを開きます。
zūmo デバイスの画面に、セキュリティコードが表示されます。
- 3 電話で、コードを入力します。

Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする

ハンズフリー通話を無効にしても、Smartphone Link のデータと通知のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 ハンズフリー通話に使用する電話名を選択します。
ヒント：電話では、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話とデータに接続することがあります。ハンズフリー通話に使用する電話名の横に、色の付いた **〰** が表示されます。
- 3 **通話**チェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする

Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にしても、ハンズフリー通話のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。

ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に **〰** と **光** が青で表示されます。

- 3 **スマートフォンサービス**チェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの通知カテゴリを表示または非表示にする

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。

ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に **〰** と **光** が色付きで表示されます。

- 3 **スマート通知**を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、zūmo デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できます。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 電話で Smartphone Link アプリを開きます。

Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする

特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ハンズフリー通話を無効にするには、**通話**チェックボックスをオフにします。
 - ・ Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にするには、**Smartphone Link** チェックボックスをオフにします。
 - ・ 特定のアプリ通知を無効にするには、Smartphone Link アプリの設定を使用します。

Android が搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする

Smartphone Link アプリを使用して、zūmo デバイスに表示する通知の種類を選択できます。

- 1 電話で Smartphone Link アプリを開きます。
- 2 **⚙** を選択します。

- 3 スマート通知チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 4 通知セクションから、設定を選択します。
通知カテゴリとアプリのリストが表示されます。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 通知を有効または無効にするには、カテゴリまたはアプリ名の横にある切り替えスイッチを選択します。
 - リストにアプリを追加するには、**+**を選択します。

ヘッドセットの Bluetooth 機能を有効または無効にする

デフォルトでは、ヘッドセットをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効または無効にできます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 ヘッドセットの名前を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ヘッドセットの接続を解除するには、ヘッドセットチェックボックスをオフにします。
 - ストリーミングメディアからのオーディオを無効にするには、Media オーディオチェックボックスをオフにします。

Smartphone Link

Smartphone Link は電話データ接続を使用して位置データを電話と同期しライブ情報にアクセスするための電話アプリケーションです。デバイスは Bluetooth 無線技術を使用して、Smartphone Link からデータを転送します。ライブ情報は Garmin ライブサービスが提供する無料の購読ベースプランから利用できます ([Garmin ライブサービス](#), 15 ページ)。

デバイスを Smartphone Link に接続するたびに、保存されている場所と最近検索した場所が電話と同期されます。

Smartphone Link をダウンロードする

Smartphone Link は一部のスマートフォンで利用できます。互換性と購入情報については、www.garmin.com/smartphonelink を参照するか、お使いの携帯電話のアプリケーションストアを参照してください。

サポートされている電話のアプリケーションストアから Smartphone Link をダウンロードします。

アプリケーションのダウンロードとインストールについては、使用している電話に付属のマニュアルを参照してください。

電話からデバイスに位置を送信する

Smartphone Link は、電話にナビゲーションアプリケーションとして登録されています。

- 1 電話から、ある位置へのナビゲーションを開始するためのボタンを選択します (電話に付属のマニュアルを参照)。
- 2 アプリケーションメニューで、Smartphone Link を選択します。

次回、デバイスを電話に接続すると、その位置が、デバイスの最近検索した場所に転送されます。

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります ([電話とヘッドセットのペアリング](#), 13 ページ)。

Smartphone Link に接続すると、Garmin ライブサービスにアクセスできるようになります。Garmin ライブサービスには、渋滞状況や天気などのライブデータをデバイスで表示するための、サブスクリプションベースプランが無料で用意されています。

天気など、サービスの中には独立したアプリとしてデバイスで使用するものがあります。また、ライブトラフィックなど、デバ

イスに既に存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には、Smartphone Link 記号が、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

Garmin ライブサービスに申し込むには、あらかじめ、電話に Smartphone Link アプリをインストールしておく必要があります。

- 1 電話の Smartphone Link アプリを起動します ([電話とヘッドセットのペアリング](#), 13 ページ)。
- 2 マイアカウントを選択します。
サービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。
- 3 サービスを選択します。
- 4 価格を選択します。
- 5 Subscribe を選択します。
- 6 画面に表示される指示に従います。

スマート通知

デバイスが Smartphone Link アプリに接続されているときは、zūmo デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Smartphone Link アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます ([Bluetooth 機能のステータスアイコン](#), 14 ページ)。

通知を受信する

注記

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

zūmo デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、表示を選択します。
- 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

注記

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

zūmo デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を確認するには、**X** を選択します。

ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。

- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- 1 **アプリケーション > スマート通知**の順に選択します。
通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
 - 通知を聞くには、**▶**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 **アプリケーション > 電話 > ダイアル**の順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 **ダイヤル**を選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **アプリケーション > 電話 > 電話帳**の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 **通話**を選択します。

施設に電話をかける

- 1 **アプリケーション > 電話 > カテゴリーを参照**の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **通話**を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答**または**無視**を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **アプリケーション > 電話 > 通話履歴**の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。

- 3 **通話**を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中に、地図から通話中オプションを選択できます。

- 音声の出力先を電話に切り替えるには、**📞**を選択します。
ヒント：この機能は、通話中にデバイスの電源をオフにする場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、**☎**を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、**🔇**を選択します。
- 電話を切るには、**📞**を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します ([保存した位置を編集する, 11 ページ](#))。

- 1 **アプリケーション > 電話 > ☰ > 自宅電話番号の設定**の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 **OK**を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

アプリケーション > 電話 > 自宅へ電話の順に選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは zūmo デバイスに後で自動的に接続できます。

- 1 **設定 > Bluetooth**の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 ペアリングされているデバイスの名前の横にあるチェックボックスをオフにします。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 **設定 > Bluetooth**の順に選択します。
- 2 電話を選択して、**ペアリングの解除**を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

トラフィック情報を利用できない国や地域もあります。トラフィックおよび利用可能な地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

- ルート上、または周辺エリアで交通事故が発生しているときに、地図上に交通アラートが表示されます。
- トラフィック情報を受信するには、デバイスがアクティブなトラフィックサブスクリプションがある Smartphone Link に接続されている必要があります。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

ライブトラフィックサービスは、トラフィックデータをリアルタイムに提供します。

- 1 互換性のある電話に Smartphone Link をダウンロードします ([Smartphone Link をダウンロードする, 15 ページ](#))。

- 2 ライブトラフィックサービスを購読します (Garmin ライブサービスに申し込む, 15 ページ)。
- 3 Smartphone Link を実行している電話にデバイスを接続します。(電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ)。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

アプリケーションを使用する

LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する

LiveTrack 機能を初めて使用するときは、機能をセットアップして視聴者を招待する必要があります。

- 1 Smartphone Link に接続します (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ)。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、LiveTrack を選択します。
- 3 ユーザー名を入力し、次へを選択します。
- 4 招待する 1 つ以上の連絡先を入力します。
連絡先の名前またはメールアドレスを入力できます。
- 5 LiveTrack を開始を選択します。
アプリは、LiveTrack データの共有を開始します。招待された視聴者は、LiveTrack データを表示するリンクを含むメールを受信します。
- 6 [↑] を選択し、ソーシャルネットワーク、メッセージングアプリまたはその他の共有アプリ (オプション) を使用して LiveTrack リンクを共有します。

スマートフォンから LiveTrack セッションを開始する

スマートフォンから LiveTrack セッションを開始する前に、電話をデバイスにペアリングして、Smartphone Link (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ)。

- 1 スマートフォンで Smartphone Link を開きます。
- 2 LiveTrack を選択します。
- 3 共有オプションを選択します。
- 4 LiveTrack を開始を選択します。
- 5 画面に表示される指示に従います。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーでは、以下のソースから音楽またはオーディオを再生できます。

- zūmo デバイスに保存されている音楽ファイル。
- 自動二輪マウントの USB ポートに接続されている電話またはメディアプレーヤーに保存されている音楽ファイル。
- 自動二輪マウントのライン入力オーディオジャックに接続されているライン入力オーディオ。
- ペアリングされた電話からの Bluetooth オーディオ。
- Pandora インターネットラジオ。
- Spotify ストリーミング音楽サービス。

メディアを再生する

- 1 アプリケーションを選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - メディアソースが Pandora に設定されたメディアプレイヤーを開くには、Pandora®を選択します。
 - メディアソースが Spotify に設定されたメディアプレイヤーを開くには、Spotify を選択します。
 - 最後に選択されたメディアソースへのメディアプレイヤーを開くには、メディアプレイヤーを選択します。

- 3 次のの中からオプションを選択します。

- メディアソースを変更するには、[↑] を選択します。
- トラック、ラジオ曲、プレイリスト、または音楽ファイルを選択するには、[♪] を選択します。

マップにメディアプレイヤーツールを追加する

メディアプレイヤーマップツールを使用すると、マップからメディアプレイヤーをコントロールできます。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図ツール > メディアプレイヤーの順に選択します。
- 2 マップを開きます。
- 3 [♪] > メディアプレイヤー を選択します。
マップにメディアプレイヤーのコントロールが表示されます。

メディアソースを変更する

メディアの再生元のソースをデバイスで変更できます。

- 1 アプリケーション > メディアプレイヤー > [↑] の順に選択します。
- 2 メディアソースを選択します。

Pandora サービス

Pandora は、簡単に際限なく音楽の楽しみを見つけられる、無償のパーソナライズされたラジオです。Pandora の統合には、Pandora アプリケーションがインストールされた、互換性のあるモバイルデバイスが必要です。互換性のあるモバイルデバイスの詳細については、www.pandora.com/everywhere/mobile にアクセスしてください。

注：Pandora は、現在、米国、オーストラリア、およびニュージーランドでご利用いただけます。

ステーションを変更する

- 1 アプリケーション > Pandora®を選択します。
- 2 [♪] を選択します。
- 3 ステーションを選択します。

Spotify

Spotify は、数百万もの曲にアクセスできるデジタル音楽サービスです。

ヒント：Spotify を統合するには、携帯電話に Spotify アプリケーションをインストールする必要があります。互換性のあるモバイルデジタルデバイスとプレミアムサブスクリプションが必要です (利用可能な場合)。www.garmin.com を参照してください。

この製品には、サードパーティの使用許諾の対象となる Spotify ソフトウェアが含まれています。サードパーティの使用許諾については、www.spotify.com/connect/third-party-licenses を参照してください。Spotify の音楽とともに旅をお楽しみください。Spotify で好きなアーティストの曲を再生したり、お勧めの曲を自動再生したりしてください。

トラック

トラックとは、バスの記録です。トラックログには、時刻、場所、高度情報など、記録されたバスについての情報が含まれています。

トラック情報の表示

- 1 アプリケーション > トラック > アクティブを選択します。
- 2 トラックを選択します。
トラックが地図上に表示されます。
- 3 [≡] を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - トラックを保存するには、トラックを保存するを選択します。
 - トラックをトリップとして保存するには、トリップとして保存を選択します。
 - トラックの高度プロットを表示するには、高度プロファイルを選択します。

最近のトラックを辿る

この TracBack 機能は、最近の移動を記録します。最近のトラックを利用して、出発した場所まで戻ることができます。

1 77 リケーション > TracBack の順に選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。

2 出発を選択します。

最近のトラックをトリップとして保存する

最近のトラックをトリップとして保存し、あとでトリッププランナーを使用して操作することができます（「保存されているトリップをナビゲーションする, 7 ページ」）。

1 TracBack を選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。

2 ≡ > トリップとして保存の順に選択します。

3 名前を入力し、OK を選択します。

タイヤ圧

⚠ 警告

タイヤ圧モニタシステムを使用しても、適切なメンテナンスの代わりとなることはありません。タイヤ圧の低下警告を生じる低タイヤ圧レベルまで達していない場合でも、正しいタイヤ圧に維持するのはドライバーの責任です。適切なタイヤ圧を維持しないと、車両が制御不能になり、重傷や死亡事故を生じることがあります。

Garmin タイヤ圧モニタシステムは別売りのアクセサリとして利用できます。タイヤ圧機能は、すべての zūmo モデルと互換性があるわけではありません。アクセサリと互換性情報については、www.garmin.com/zumo を参照してください。

タイヤ圧センサーの設定

タイヤ圧センサーを設定する前に、バッテリーと各センサーに付属の数字ステッカーをご用意ください。また、互換 zūmo デバイスも必要になります。

センサーは互換 zūmo デバイスとワイヤレスで通信します。タイヤ圧を監視し、zūmo デバイスで低圧アラートを受信できます。

1 キャップ①を反時計回りに回し、センサー②から取り外します。



2 すでにセンサーにバッテリーを取り付けている場合は取り外します。

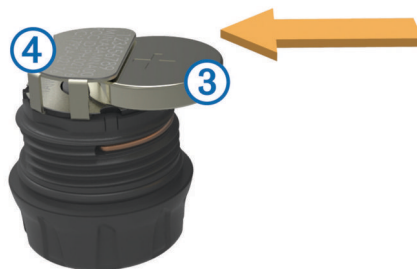
3 zūmo デバイスで、77 リケーション > タイヤ圧を選択します。

4 ご利用の車両のタイヤ構成に一致する車両プロファイルを選択します。

5 センサーを zūmo デバイスに近づけます。

6 zūmo デバイスで、センサーをペアリングするタイヤの横の数字を選択します。

7 30 秒以内にバッテリー③のプラス側を上にしてセンサーのバッテリーホルダー④に装着します。



zūmo デバイスがセンサーを検索し、センサーとのペアリングが正常に行われると確認メッセージが表示されます。

ヒント： センサーが正常にペアリングされなかった場合、センサーのバッテリーを取り外し、手順 6 と 7 を繰り返してください。

8 タイヤの推奨圧を入力します。

9 タイヤの最低圧を入力します。

zūmo デバイスでは、この値より低いタイヤ圧がセンサーから報告されると、低圧アラートがトリガーされます。

10 再びキャップをセンサーにはめて完全に締めます。

11 手順 6 で選択したタイヤ番号に対応する数字ステッカーをセンサーに貼付します。

12 残りのセンサーそれぞれについてこの手順を繰り返します。

タイヤにセンサーを取り付ける

⚠ 警告

タイヤ圧モニタシステムは、金属製のタイヤバルブシステムのみで使用されます。タイヤ圧センサを非金属製のタイヤバルブシステムに取り付けると、タイヤやバルブシステムが損傷して、重傷や死亡事故を生じることがあります。

注記

センサや車両への損傷を回避するために、取り付けしているセンサが車両のブレーキ、サスペンション部品、その他の取り付けられている機器と干渉しないことを確認してください。取り付けしたセンサが、取り付けられている機器を干渉する場合は、センサを取り付けた状態で車両を運転しないでください。

一部の車両では、タイヤの振動または不均一なタイヤの摩耗を防止するため、センサーを取り付けた後、車両のタイヤのバランスを取る必要がある場合があります。

タイヤにセンサーを取り付ける前に、zūmo デバイスでセンサーを設定する必要があります。

1 車両のタイヤから既存のバルブ軸キャップを取り外します。

2 zūmo デバイスで 77 リケーション > タイヤ圧の順に選択し、車両プロファイル図を表示します。

3 センサーを時計回りに締めて、タイヤのバルブ軸に取り付けます。

注： 各センサーは、車両プロファイル図とセットアッププロセス中にセンサーに貼り付けた番号ステッカーに基づいて、正しいタイヤに取り付ける必要があります。

4 手で車輪を回して、センサーに十分な空間があり、車載装置と干渉しないことを確認します。

タイヤ圧アラート

このデバイスは、ポップアップメッセージ、地図上のアイコン、タイヤ圧アプリケーションの記号を使用してアラートを通知します。

センサのアラートが存在する場合、タイヤアプリケーションで対応するタイヤの横の番号が赤で表示されます。番号の下に記号が赤で表示され、そのセンサのアクティブなアラートを示します。

(i)	低タイヤ圧
	センサバッテリー残量低下
×	センサ未接続

タイヤ圧センサーのスリープモード

車両を駐車し、zūmo デバイスをオフにすると、タイヤ圧センサーは数分後に省電力スリープモードになります。スリープモード中に、センサーは zūmo デバイスに情報を送信しません。これにより、zūmo デバイスはセンサーが切断されていると報告することがあります。

次回車両が動くと、センサーはスリープモードを終了し、zūmo デバイスに自動的に再接続します。再接続には、最長 30 秒かかることがあります。

コンパスを使用する

注：方向を判断するには、コンパスを呼び出す必要があります。GPS コンパスを使用してナビゲーションを実行できます。

77' リケーション > コンパスの順に選択します。

VIRB® リモート

VIRB リモート機能により、ご使用のデバイスで VIRB アクションカメラを操作できます。www.garmin.com/VIRB で VIRB アクションカメラを購入してください。

VIRB アクションカメラの制御

VIRB リモート機能を使用する前に、VIRB カメラのリモート設定を有効にする必要があります。詳細については、「VIRB シリーズマニュアル」を参照してください。

- 1 VIRB カメラの電源をオンにします。
- 2 zūmo デバイスで、77' リケーション > VIRB リモート > 接続の順に選択します。
- 3 デバイスが VIRB カメラに接続するまで待ちます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ビデオを録画するには、録画の開始を選択します。
 - ビデオの録画を停止するには、録画の停止を選択します。
 - 写真を撮影するには、写真を撮るを選択します。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリを追加することもできます（「サービスカテゴリを追加する、19 ページ」）。

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 OK を選択します。

サービスカテゴリを追加する

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 ≡ > カテゴリの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリ名を入力してから、OK を選択します。

サービスカテゴリを削除する

サービスカテゴリを削除すると、そのカテゴリに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 ≡ > カテゴリの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリの名前を変更する

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリを選択します。
- 3 ≡ > カテゴリ名変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、OK を選択します。

サービスの記録を削除する

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリを選択します。
- 3 ≡ > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1 77' リケーション > サービス履歴を選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、OK を選択します。

ヘルプファイルの表示

フルマニュアルを参照するには、77' リケーション > ヘルプの順に選択します。

ヘルプトピックを検索する

77' リケーション > ヘルプ > Q の順に選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信する必要があります。デバイスを Smartphone Link アプリに接続して、天気予報データを受信できます（電話とヘッドセットのペアリング、13 ページ）。

- 1 77' リケーション > 天気を選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 77' リケーション > 天気 > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - お気に入りの都市を追加するには、都市の追加を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

地図上に現在の天候が色分けされたアニメーションで表示され、天気アイコンも表示されます。天気アイコンが、雨、雪、雷雨など、近隣の天候の表示に変化します。

- 1 77' リケーション > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 ≡ > 気象観測レーダーを選択します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 77' リケーション > 天気を選択します。

2 必要に応じて、都市を選択します。

3 **三** > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

1 **77** リケーション > 天気を選択します。

2 必要に応じて、都市を選択します。

3 **三** > 道路状況を選択します。

photoLive トラフィックカメラ

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。定期的に表示させるカメラを保存できます。

トラフィックカメラを保存する

この機能を使用する前に、photoLive サービスに申し込み、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります ([Smartphone Link, 15 ページ](#))。

この機能を利用できない地域もあります。

1 **77** リケーション > photoLive を選択します。

2 触れて追加を選択します。

3 道路を選択します。

4 交差点を選択します。

5 保存を選択します。

トラフィックカメラを表示する

トラフィックカメラを表示できるようにするには、トラフィックカメラを保存する必要があります ([トラフィックカメラを保存する, 20 ページ](#))。

1 **77** リケーション > photoLive の順に選択します。

2 カメラを選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイスおよびプライバシー設定, 21 ページ](#))。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

77 リケーション > 目的地の履歴を選択します。

デバイスをカスタマイズする

地図および車両設定

設定 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上での自分の位置を表すアイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする, 13 ページ](#))。

オーディブル運転者アラート: 各種の運転者アラートを表す警告音を有効にします ([運転者への注意喚起の機能とアラート, 4 ページ](#))。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 **設定 > 地図 / 車両 > マイマップ**の順に選択します。

2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > 航法の順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

オフルート再計算: アクティブルートから外れた時に行う再計算の環境設定を設定します。

疲労警告: 休憩なしに長時間運転を続けると警告します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > 航法 > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

アドベンチャールート: カーブの多い道を含むルートを計算します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS を使用してシミュレートした場所を設定することができます。

1 **設定 > 航法 > GPS シミュレーター**を選択します。

2 メインメニューで、**地図表示**を選択します。

3 地図を2回タップして、エリアを選択します。

この位置の住所が画面の下部に表示されます。

4 位置の説明を選択します。

5 **現在地変更**を選択します。

Bluetooth 設定

設定 > Bluetoothの順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリー名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Bluetooth を無効にする

1 **設定 > Bluetooth**の順に選択します。

2 **Bluetooth**を選択します。

ディスプレイ設定

設定 > 表示の順に選択します。

カラーモード: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。Smartphone Link アプリおよびライブトラフィックサービスのサブスクリプションが必要です。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > 単位 / 時間の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻の形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

- 1 メインメニューから時間を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、自動を選択します。
 - 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから設定 > 言語 / キーボードを選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

近接アラート設定

注: 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注: この機能を利用できない地域もあります。

設定 > 近接アラートの順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

デバイスおよびプライバシー設定

デバイスの設定ページを開くには、設定 > デバイスを選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

位置レポート: 位置情報を Garmin と共有してコンテンツの品質を向上させます。

走行履歴: デバイスで myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends 目的地の履歴、および奇跡ログ機能から走行履歴を消去します。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3 三 > 初期化の順に選択します。

デバイス情報

仕様

耐水性	IEC 60529 IPX7
動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力 (CLA、自動二輪、または外部電源)	DC 12 ~ 24 V
電源入力 (USB)	5 V ±0.25 V
バッテリー寿命	最大 4 時間(使用方法と設定により異なる)
バッテリータイプ	交換可能なりチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧範囲	3.5 ~ 4.1 V
無線周波数プロトコル	2.4 GHz ANT+® 無線通信プロトコル (VIRB リモート用) 2.4 GHz ANT® (タイヤ圧監視システム用)

このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

デバイスを充電する

注: このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。

注記

デバイスを車両電源ケーブルに直接接続しないでください。

- USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。

コンピュータに接続しているときは、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。一部のポータブルコンピュータでは、デバイスが充電されない場合があります。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。

デバイスのメンテナンス

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース(タッチスクリーン以外)を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- お使いのデバイスは <http://my.garmin.com> で登録してください。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスを前方へ傾けます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

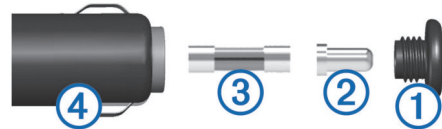
車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (取り付け, 1 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 20 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 22 ページ)。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 21 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 21 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 4 ページ)。
- Bluetooth 無線技術を無効にします (Bluetooth を無効にする, 20 ページ)。
- 使用していないデバイスはスリープモードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 3 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません

大半の Windows® コンピュータでは、デバイスは Media Transfer Protocol (MTP) を使用して接続されます。MTP モードでは、デバイスはリムーバブルドライブではなく、ポータブルデバイスとして表示されます。MTP モードは、Windows 7、Windows Vista®、および Windows XP Service Pack 3 (Windows Media Player 10 付属) でサポートされています。

使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません

Mac®コンピュータや、一部の Windows コンピュータでは、デバイスは USB 大容量記憶装置モードを使用して接続されます。USB 大容量記憶装置モードでは、このデバイスは、ポータブルデバイスではなく、リムーバブルドライブまたはボリュームとして表示されます。Windows のうち、Windows XP Service Pack 3 より前のバージョンでは、USB 大容量記憶装置モードを使用します。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをデバイスおよびコンピュータの USB ポートに接続してください。

ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、コンピュータの USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注：お使いのコンピュータで複数のネットワークドライブがマッピングされている場合、Windows が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じている可能性があります。ドライブレター割り当てについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。

電話がデバイスに接続されません

- 設定 > Bluetooth の順に選択します。
Bluetooth フィールドは 有効に設定する必要があります。
- 電話で Bluetooth 無線技術を有効にし、デバイスから 10m(33 フィート) 以内の範囲に電話を持てきます。
- 詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

付録

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~32 GB の microSD メモリカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します ([デバイスの概要, 2 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows 95、98、Me、Windows NT®、および Mac OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 23 ページ](#))。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Mac コンピュータの場合は、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。

- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [マップ] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

索引

記号

2D 地図表示 13
3D 地図表示 13

A

アイコン, ステータスバー 4
赤信号カメラ 5
アクセサリ 23
アクティブ車線案内 6

B

場所 10
バッテリー
充電 21, 22
問題 22
最大化 22
挿入する 3

C

地図 6, 11, 12, 20
データフィールド 6, 12, 13
記号 6
購入 23
更新 3
ルートを表示する 6
詳細度 20
テーマ 20
ツール 12
レイヤー 13
地図表示
2D 13
3D 13

D

デバイスのクリーニング 22
デバイスのお手入れ 22
デバイスの取り付け
マウントから取り外す 2
自動二輪 1
自動車 2
吸着カップ 22
マウントを取り外す 22
デバイスを充電する 21, 22
電源ケーブル 21
ヒューズ交換 22
電源キー 2, 3
電話
ペアリング 13, 23
取り外し 16
電話に应答する 16
電話をかける 16
電話に应答する 16
自宅 16
かける 16
ダイヤルする 16
履歴 16
連絡先 16
ディスプレイ設定 21
道路状況, 天気 20

E

衛星信号
捕捉 3
表示 23
EULA 21

F

ファイル, 転送する 23
Foursquare 10

G

Garmin Express, ソフトウェアを更新する 3
ガソリン残量アラーム 9
言語
キーボード 21
音声 21
[現在地の確認] 11
Bluetooth 技術 14
デバイスの取り外し 16

電話とのペアリング 13
ヘッドセットのペアリング 13
Bluetooth 技術 13
Bluetooth 技術 13, 15, 16, 23
電話の管理 14
設定 20
通話の無効化 14
無効 20
GPS 3, 23

H

ハンズフリー通話 14
ヘッドセット 15
ペアリング 13
編集, 保存されたトリップ 7
ヘルメットに関する法律 5
ヘルプ. 19 関連項目 製品のサポート
方向 6
方向転換地点 6
保存した位置 7, 11
カテゴリ 11
削除 11
編集 11
保存する, 現在地 11
ヒューズ, 交換 22

I

位置 10, 20
場所 10
保存する 11
最近検索した 10
シミュレート 20
検索対象 9, 10
現在 11
電話をかける 16
位置を検索する. 9 関連項目 位置
住所 10
交差点 10
都市 10
カテゴリ 9
座標 10
ID 番号 21

J

ジャンル別施設 (POI) 9, 10
場所 10
自動二輪マウント 1
ケーブル 1
時間設定 21
自宅
電話をかける 16
位置を編集する 6
移動 6
電話番号 16
住所, 検索する 10

K

回避
道路機能 8
道路 8
エリア 8
料金 8
削除 8
無効 8

カメラ

赤信号 5
スピード 5
ケーブル, 自動二輪マウント 1
検索バー 9
検索エリアを変更する 9
緊急時サービス 11
近接ポイントアラート, 設定 21
帰宅する 6
この先 12
カスタマイズ 12
コンパス 19
交通モード 4
交差点, 検索する 10
更新
地図 3
ソフトウェア 3

クイックサーチ 10
共有する, LiveTrack 17
吸着カップ 22

L

LiveTrack 17

M

microSD カード 2, 23
マウント, 削除 22
マウントを取り外す 22
メディアプレイヤー 17
メモリカード 2
挿入する 23
メモリーカード 23
目的地. 参照項目 位置
myTrends, ルート 8

N

ナビゲーション 6, 10
設定 20
直行ルート 8
燃料
ガソリンスタンド 11
トラッキング 9

O

音量, 調節 4
オンスクリーンボタン 4
オーディオ, 近接ポイント 21

P

ペアリング
電話 13, 23
ヘッドセット 13
取り外し 16

R

Garmin ライブサービス 15
サービスに申し込む 15
VIRB リモート 19
VIRB リモート 19
リセットする
デバイス 22
トリップデータ 12
ルート 5
アドベンチャールート 5
地図上に表示する 6
開始 5, 6
計算 5
計算モード 5, 7, 20
形成する 7
候補 8
myTrends 8
ポイントを追加する 6, 7
停止する 7
ルート情報 6
ルートを形成する 7
料金, 回避する 8

S

サービス履歴
編集 19
カテゴリ 19
記録 19
削除 19
サブスクリプション, Garmin ライブサービス 15
最近検索した場所 10
削除
ペアリング Bluetooth デバイス 16
サービスカテゴリ 19
サービスの記録 19
トリップ 7
製品のサポート 19
設定 20, 21
仕様 21
Smartphone Link 14, 15
Garmin ライブサービス 15
接続 13, 14
通話の無効化 14

- ソフトウェア
 - バージョン 21
 - 更新 3
- 走行履歴 21
- Spotify 17
- スクリーンショット 21
- スピードカメラ 5
- スリープモード 3, 19

T

- タイヤ圧
 - アラート 18
 - プロファイル 18
 - センサー 18
 - スリープモード 19
- タッチスクリーンのクリーニング 22
- 天気 19
 - 道路状況 20
 - レーダー 19
- トラブルシューティング 22, 23
- トラフィック 13, 16, 17, 21
 - 代替ルート 8
 - カメラ 20
 - 事故 13
 - 地図 13
 - 遅延の検索 13
- トラック 17
- 取り外し, Bluetooth デバイス 16
- トリップ情報 12
 - 表示 12
 - リセットする 12
- トリッププランナー 7, 8
 - シェイピングポイント 7
 - トリップを編集する 7
- 盗難, 回避する 22
- TracBack 18
- ツール, 地図 12
- 通話 16
 - ダイヤルする 16
 - 電話に応答する 16
 - ミュート操作 16
 - 音声ダイヤル 16
- 通知 5, 14–16

U

- 迂回路 7
- 運転方向 6
- 運転者アラート 4, 5
- USB, 取り外し 23

Y

- ユニット ID 21

き

- キーボード 4
 - 言語 21
 - レイアウト 21

こ

- コンピュータ, 接続 22, 23

し

- ジオキャッシング 10
- シミュレートされた場所 20
- ショートカット
 - 削除 11
 - 追加 11

た

- ダイヤルする 16

て

- デバイスをカスタマイズする 20

と

- トラフィックカメラ, 表示 20

